

ひらか 連携ニュース

平成30年5月、秋田県南連携実務者ネットワーク「県南ほっこりネット」が設立されました。このネットワークは、県南地域の連携実務者の相互交流を深め、日頃の医療・介護連携における現状や課題を気軽に相談しあえる関係をつくることを目的に、各病院の地域医療連携室の実務者が中心となり発足されました。今回は、先月開催された第1回研修会について、ご紹介します。

秋田県南連携実務者ネットワーク主催

第1回「県南ほっこりネット」研修会

日 時：平成30年7月14日(土) 13:30～16:30
場 所：平鹿総合病院 講堂
対 象：秋田県南地域の医療機関、福祉施設、
行政機関に属する医療・介護連携、
地域包括ケアを担当する実務者
参加者数：67名



基調講演 「つながりで“気づく”“築く”地域の強み」

岩手県立宮古病院 地域医療福祉連携室
(特定非営利活動法人 全国連携実務者ネットワーク 理事)
主任医療社会事業士 湯澤 克 氏

平成21年より、医療ソーシャルワーカーとして連携実務を担当。業務を通して、病院間や医療・介護の垣根を感じ、お互いのことを理解しあうためにはヒューマン・ネットワークの構築が重要であることを実感した。二次医療圏、県単位で連携実務者のネットワークを立ち上げ、勉強会の開催や情報共有のためのツールの開発、市民向けの研修会等を行っている。

ネットワークの活動により、地域の現状や多職種のそれぞれの想いに気づき、情報共有や相互理解の場が築かれるようになった。これらのネットワーク活動の継続が、地域のつながりを広げ、強化し、地域の課題発見・解決へと結びついている。

“正しい”だけでは人は集まらない。“楽しい”という気持ちが人を動かす。横手の皆さんも人とのつながりを楽しみながら「ほっこりネット」で地域の力を高めてほしい。

グループワーク

「ほっこりネット」で
できること、やりたいこと！

- ・同職種・多職種のつながりを強化！
- ・職場のPR、強み・弱みを知る機会に
- ・他のネットワークとのコラボレーション
- ・ネットワークをつなげるコーディネーターの育成
- ・若い人が集まる場
- ・秋田県板CCRC
- ・こういう場に参加する 楽しく！



「ほっこりネット」の願い

- ♡ 連携実務者の和が深まり、より思いやりのあるあたたかい連携を築けるように…
- ♡ 地域住民が住み慣れた地域で、

ほっこりとした、あたたかい気持ちで安心して暮らし続けられるように…

